

基本目標 6

文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

1 文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

10年後の目指す姿

- 地域の人々が、愛着をもって文化財・伝統文化を守り、継承するとともに、まちづくりなどに活用することで、地域が活性化している。
- 国内外の人々が、デジタル技術やネットワーク技術を利用して、本県の文化財の魅力を知り、興味・関心を持ち、現地を訪れる機会が増えることで、地域が賑わっている。

現状と課題

- ◆本県では、豊かな自然や風土に育まれた文化財・伝統文化が各地域に多く残されており、優れた地域資源にもなっています。
- ◆人口減少や高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸、祭りなどの伝統行事の休止等がみられるなど、文化財・伝統文化の担い手不足が顕在化しています。
- ◆文化財・伝統文化は、地域の人々の誇りや絆、アイデンティティーの根源であることも踏まえ、文化的特色を生かした地域づくりにつなげるなど、次世代への確実な継承が求められています。
- ◆県民が文化財・伝統文化に親しみ、より一層理解を深められるようにするためには、文化財のデジタル・アーカイブ<sup>※1</sup>化などを通じた、積極的な情報発信が重要です。

本県の国・県指定文化財数

〈令和6年3月現在〉

| 国指定の文化財           |     | 県指定の文化財 |     | 合計  |
|-------------------|-----|---------|-----|-----|
| 重要文化財（国宝4件含む）     | 91  | 有形文化財   | 502 | 593 |
| 重要無形文化財           | 1   | 無形文化財   | 2   | 3   |
| 重要有形民俗文化財         | 4   | 有形民俗文化財 | 14  | 18  |
| 重要無形民俗文化財         | 7   | 無形民俗文化財 | 47  | 54  |
| 史跡（特別史跡1含む）       | 46  | 史跡      | 107 | 153 |
| 名勝                | 6   | 名勝      | 6   | 12  |
| 天然記念物（特別天然記念物2含む） | 24  | 天然記念物   | 79  | 103 |
| 重要伝統的建造物群（選定）     | 2   | —       | —   | 2   |
| 重要文化的景観（選定）       | 5   | —       | —   | 5   |
| 選定保存技術            | —   | 選定保存技術  | 1   | 1   |
| 合 計               | 186 | 合 計     | 758 | 944 |

出典：大分県調べ

※1 資料等情報をデジタル形式で記録し、データベース化して保管することにより、随時の閲覧・鑑賞に供するとともに、ネットワークを利用し情報発信を行う仕組み

## ■ 主な取組

## ①文化財・伝統文化の保存

- ・指定・選定・登録を通じた文化財の適切な保存・管理の推進
- ・文化財・伝統文化の保存に向けた、デジタル技術やネットワーク技術の積極的な活用
- ・「大分県文化財保存活用大綱<sup>※2</sup>」と連動した、市町村の「文化財保存活用地域計画<sup>※3</sup>」の認定促進
- ・市町村教育委員会と連携した有形文化財の状況把握の徹底
- ・地域住民と連携・協働したパトロール活動など、地域の文化財を守り伝えていくための防犯・防災対策の強化
- ・文化財の耐震補強など、大規模災害への防災・減災対策や被災時の早期復興支援策の充実

## ②文化財・伝統文化の継承

- ・県立歴史博物館・県立先哲史料館・県立埋蔵文化財センターが実施する、訪問講座や体験学習の機会の充実
- ・無形文化財や民俗文化財の鑑賞・体験を通じた県民の学習機会の充実
- ・文化財愛護団体の活動発表機会やネットワークづくり、指導者向け講習会などへの支援の充実
- ・文化財の保存技術講習や民俗文化財のデジタル映像化等を通じた後継者の育成
- ・郷土の伝統・文化等に関する学びを通じた、豊かな創造性や感性、愛郷心等の育成



地域学習における伝統文化の継承

## ③文化財・伝統文化の魅力発信

- ・「おおいた文化財ずかん<sup>※4</sup>」など、デジタル技術やネットワーク技術の活用による、文化財・伝統文化の魅力を体感できる機会の充実
- ・文化財をめぐるウォーキング・ツアーやフォトコンテストなど体験型イベントの充実
- ・有形文化財や記念物に指定された文化財などの修復現場の公開を始め、文化財を核にした観光戦略の展開
- ・文化財・伝統文化をストーリー化した「日本遺産」等を活用した地域の活性化
- ・文化財を案内する案内板やVR等の視覚資料の整備・充実



おおいた文化財ずかん

## ■ 目標指標

| 指 標 名                                | 基準値    | 目標値     |         |
|--------------------------------------|--------|---------|---------|
|                                      | R 5 年度 | R 10 年度 | R 15 年度 |
| 文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画認定数<br>(市町村・累計) | 3      | 8       | 18      |
| デジタルコンテンツのアクセス件数(万件)                 | 2.2    | 4.9     | 5.3     |

※2 文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化し、文化財に関する保存・活用・継承や防災対策、市町村への支援など各種の取組を進めていく上で共通の基盤となる大綱

※3 市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なマスター・プラン及びアクション・プランとなるもの。文化庁長官から認定された場合は、国の登録文化財候補を市町村から提案できるなど、未指定文化財の保護推進が期待できる。

※4 大分県内に所在する国・県指定等文化財やユネスコ無形文化遺産に登録された文化財を画像等で紹介する県教育委員会が運営するホームページ